

令和5年度 クレドアワード

知事賞 (16件)
副知事賞 一覧 (2件)

福井県職員 クレド

私たちは、徹底的に現場にこだわり、県民の声を聴く「県民主役の県政」を常に意識し、次の5つのクレドに基づき責任を持って行動します。

① 「現場」って本来の職場

- ・自分にとっての現場がどこか確認する。
- ・現場の状況、相手をよく観察する。課題を探す。
- ・現場を起点に、解決への切り口をより多く見つける。



② 「挑戦」って毎日するもの

- ・自分の枠に捉われず、小さな挑戦を毎日続ける。
- ・批判だけで終わらない。共に解決策を考え、挑戦する仲間を応援する。
- ・挑戦による失敗から学ぶ。安心して挑戦できる職場を作る。



③ 「協働」って仕掛けづくり

- ・相手の話をよく聴き、自分の意見と熱意を伝え、信頼関係を築く。
- ・意見が対立した時には、実施する目的を互いに確認する。
- ・相手と自分の強みを活かし、共に参加したくなる仕掛けを作る。



④ 「創意工夫」って現状打破

- ・制約を理由にあきらめない。「アイデアを拡げて絞る」を繰り返す。
- ・自分の領域・分野の外からも考えてみる。
- ・ありそうでなかった“新しい常識”を福井県から生み出す。



⑤ 「効率化」って決める覚悟

- ・県民と自分のために、最小の時間で成果を最大にする。
- ・仕事の目的を考え、「やるべき仕事」の優先順位を決める。
- ・「やめる、減らす、変える」を実践し、チャレンジする時間を作る。



現場部門

	特別賞	能登半島地震災害対応		能登半島地震において災害対応に従事した全職員
		北陸新幹線(金沢・敦賀間)本線工事完了	未来創造部 新幹線建設推進課	参事 伊戸 康清 主任 吉田 勝洋 主任 古川 健 主任 山下 剛史 主任 佐々木 秀隆
		子ども食堂フードバンク活動	健康福祉部 児童家庭課	主任 武原 智美
		苦情処理アプリで「見える化」	土木部 小浜土木事務所 丹南土木事務所	小浜土木事務所 主事 田中 敦基 主任 辻岡 信也 丹南土木事務所 主事 山 博紀 主査 清水 守

挑戦部門

		「防災DX」の推進	防災安全部 危機管理課	危機管理課職員一同
	特別賞	ふくい応援ポケモンに「カイリユ」就任	交流文化部 魅力創造課	魅力創造グループ職員一同
		23年目のさらなる進化 恐竜博物館 REBORN!	交流文化部 魅力創造課 恐竜博物館	恐竜戦略室職員一同 恐竜博物館職員一同
		北陸新幹線開業プロモーション、機運醸成	交流文化部 新幹線開業課	新幹線開業課職員一同
		戦国列車“超”プレミアムツアー	交流文化部 文化課 一乗谷朝倉氏遺跡博物館	文化・スポーツ局 文化課 総括主任 伊戸 崇 主査 小原 啓聖 一乗谷朝倉氏遺跡博物館 副館長 半藤 貴子 主査 藤田 若菜 主事 常見 彩花
		フクモクフェスの初開催	農林水産部 県産材活用課	企画主査 柴田 諭

協働部門

		市町の滞納整理を伴走応援	総務部 税務課 福井県税事務所納税課	納税推進室 総括主任 荒木 千恵 主任 齊藤 富洋 福井県税事務所納税課 主任 橋詰 英明 企画主査 田中 健太 企画主査 成實 亜清 主事 西村 樹紀
	特別賞	バス・タクシーのDX化	未来創造部 交通まちづくり課	主任 竹沢 進 主事 伊與 悠登
		主伐・再造林を盛り上げる取り組み	未来創造部 嶺南振興局林業水産部	主任 吉田 悦久
		UDフォントの普及促進	健康福祉部 タスクフォース	三国土木事務所 主任 乾 陽子 SDGsディレクター 北川 愛子 障がい福祉課 参事 加賀 ゆかり 総括主任 布川 友美

創意工夫部門

	特別賞	県庁前広場の活用 屋上開放	総務部 財産活用課	主任 西岡 政泰 主事 大牧 祐子
	副知事賞	「らんまん」とのコラボ企画で平瀬作五郎を広く周知	教育庁 教育博物館	主任 柏谷 秀一 主任 浦 雅子 主査 菅原 芽衣

効率化部門

	副知事賞	生成AIの効果的活用と横展開	未来創造部 タスクフォース	生成AI業務活用タスクフォース職員一同
		学校事務に多様なDXを導入	教育庁 敦賀高等学校	敦賀高等学校 事務職員一同

現場部門

現場部門

特別賞	能登半島地震災害対応			能登半島地震において災害対応に従事した全職員				
	北陸新幹線(金沢・敦賀間)本線工事完了	未来創造部	新幹線建設推進課	参事 伊戸 康清	主任 吉田 勝洋	主任 古川 健	主任 山下 剛史	主任 佐々木 秀隆
	子ども食堂フードバンク活動	健康福祉部	児童家庭課	主任 武原 智美				
	苦情処理アプリで「見える化」	土木部	小浜土木事務所 丹南土木事務所	小浜土木事務所 丹南土木事務所	主事 田中 敦基	主任 辻岡 信也	主事 山 博紀 主査 清水 守	

北陸新幹線（金沢・敦賀間）本線工事完了【現場】

(1)候補者

未来創造部新幹線・交通まちづくり局新幹線建設推進課

参事 伊戸 康清 主任 吉田 勝洋 主任 古川 健 主任 山下 剛史 主任 佐々木 秀隆

(2)成果

- ・北陸新幹線(金沢・敦賀間)について、12月8日に車両走行試験が完了し、鉄道施設の管理が鉄道・運輸機構からJRに移行 ⇒ **新幹線の本線工事がすべて完了(100%)**
- ・平成24年6月に工事実施計画が認可されて以来、約12年の歳月を経て、令和6年3月16日の開業に向けてすべての本線工事が完了
- ・新型コロナの影響や加賀トンネルの盤ぶくれ、ウクライナ事案に伴う資材不足等の多くの課題を乗り越え、着実に工事を進捗

(3)クレドの実践ポイント

- ・国交省、鉄道・運輸機構、沿線自治体等と連絡会議等を毎月開催(35回)、工事の進捗をHPで公開し適切に管理
- ・市町・地元と協議を重ね、機能補償工事や地元要望等に丁寧に対応



子ども食堂フードバンク活動【現場】

(1)候補者

健康福祉部児童家庭課 主任 武原 智美

(2)成果

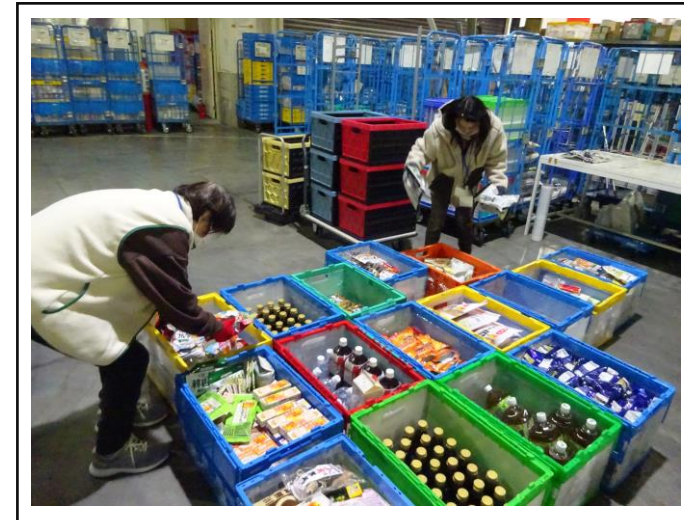
- ・県内の子ども食堂において配布する保存食や日用品について、県内企業に寄付等と呼びかけ、**廃棄予定食品等を定期的に子ども食堂等を通じて家庭へ配布**する仕組みを構築。**フードロス対策**にも。
- ・ほかにも絵本の配布など企業の申出と子ども食堂の希望について、**5件のマッチングを実現**。

【提供企業と内容例】

- ・ゲンキー(株):廃棄予定の食料品等、毎週水曜に、希望する団体が配送センターで受け取り
- ・(株)勝木書店:図鑑と絵本のセット(5冊、13セット)を子ども食堂に提供

(3)クレドの実践ポイント

- ・提供側の希望と子ども食堂側の希望をすり合わせ、双方の負担とならない形を実現(協働)
- ・継続していくために、ある程度の調整後は当事者同士で進められるような仕組みを工夫(創意工夫)



苦情処理アプリで「見える化」【現場】

(1)候補者

小浜土木事務所 主事 田中 敦基 主任 辻岡 信也
丹南土木事務所 主事 山 博紀 主査 清水 守

DX推進課長推薦
令和5年度
いいね！チャレンジ最多得票

(2)成果

- ・県民等からの苦情対応を効率的に行うため、kintoneを用いて「苦情処理アプリ」を作成し、苦情内容や対応状況(「受付」「調査」「対応」「解決」)を所属内で「見える化」
- ・苦情解決までの時間を1件約50分短縮、**合計190件の早期解決**を促した。
- ・他所属にも展開(導入所属からは「業務改善が図られた」と高い評価)
- ・「いいね！チャレンジ」では、職員121名から評価され(歴代最多得票)**第1位を獲得**、全庁的な業務改善の推進に寄与

(3)クレドの実践ポイント

- ・県民等から寄せられた苦情等を、所属全体で把握、早期に解決を図る仕組みを構築し、県民サービスの向上に貢献(現場)
- ・担当業務の隙間時間を活用し、費用をかけずに自らアプリを作成
また誰でも使いやすいように工夫(創意工夫)
- ・システムの活用により苦情解決に係る時間が短縮(効率化)

地元要望・苦情調査

受付日	受付種別	受付内容	受付担当者	受付日時
2023-08-02	苦情	2023-08-02 17:50

【苦情】
受付種別: 苦情
受付内容: ...
受付日時: 2023-08-02 17:50

【苦情】
受付種別: 苦情
受付内容: ...
受付日時: 2023-08-02 17:50

- ・聞き取り内容を明確化
情報共有・調査指示の時間を短縮
- ・現場での情報確認・更新も可能
- ・多人数で対応の進展を随時チェック

挑戦部門

挑戦部門

	「防災DX」の推進	防災安全部	危機管理課	危機管理課職員一同
特別賞	ふくい応援ポケモンに「カイリユウ」就任	交流文化部	魅力創造課	魅力創造グループ職員一同
	23年目のさらなる進化 恐竜博物館 REBORN!	交流文化部	魅力創造課 恐竜博物館	恐竜戦略室職員一同 恐竜博物館職員一同
	北陸新幹線開業プロモーション、機運醸成	交流文化部	新幹線開業課	新幹線開業課職員一同
	戦国列車“超”プレミアムツアー	交流文化部	文化課 一乗谷朝倉氏遺跡博物館	文化・スポーツ局 文化課 総括主任 伊戸 崇 主査 小原 啓聖 一乗谷朝倉氏遺跡博物館 副館長 半藤 貴子 主査 藤田 若菜 主事 常見 彩花
	フクモクフェスの初開催	農林水産部	県産材活用課	企画主査 柴田 諭

「防災DX」の推進【挑戦】

(1) 候補者

防災安全部危機管理課 危機管理・国民保護G員 原子力防災対策G員

(2) 成果

- ・災害時における **住民への情報伝達** や **避難所受付** をより円滑に行う **DX化** を推進
- ・R5総合防災訓練、原子力総合防災訓練において、その実効性を検証
 - ・**Yahoo!防災**アプリを活用し緊急情報伝達手段を多重化
 - ・**AI電話**による避難先案内・受付
 - ・**LINEシステム**による避難所受付・運営(**県内全市町で導入済**)
 - ・**自動文字認識機能**を活用した運転免許証等による受付
- ・**能登半島地震**では、**福井県が開発したLINEシステム**を**石川県が活用**（2次避難等で約5,500人が利用 ※1/25時点）

(3) クレドの実践ポイント

- ・Yahoo!防災アプリの活用や全国で初めてとなるAI電話の導入など、**新技術の情報を積極的に収集し訓練に導入**（挑戦）
- ・利便性の高い**LINEシステムの導入により石川県の災害対応業務を支援**（挑戦）



LINEシステムによる避難所受付状況

ふくい応援ポケモンに「カイリュー」就任【挑戦】

🏆 特別賞

(1) 候補者

交流文化部 魅力創造課 魅力創造グループ

(2) 成果

- ・令和5年10月23日 (株)ポケモンと福井県が、本県の誘客促進および知名度向上に係る相互協力協定を締結
- ・同時に、人気の高いキャラクターである「カイリュー」が、「ふくい応援ポケモン」に就任
- ・既に、県主催のイベント等で本県の魅力発信のための活動をスタート
- ・11月19日(日)「福井そば博2023」および12月10日(日)「スポカルFUKUI2023」でのグリーティングをはじめ、12月15日～3月15日まで実施する「福井県×カイリュースタンプラリー2023」など、情報発信力の高い場面でカイリューを効果的に活用することにより、北陸新幹線福井・敦賀開業に向けた盛り上げに貢献している。

(3) クレドの実践ポイント

- ・(株)ポケモンが展開する相互協力協定締結に基づく「ポケモンローカルActs」の取組先として、北信越で初めて本県が実現(挑戦)



23年目のさらなる進化 恐竜博物館 REBORN! 【挑戦】

(1)候補者

交流文化部魅力創造課恐竜戦略室課員 恐竜博物館職員



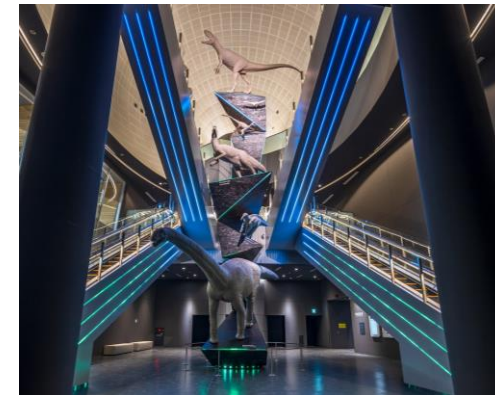
(2)成果

- ・新館の増設や常設展示の大規模更新等を経て、R5.7.14にリニューアルオープン
- ・恐竜の全身骨格標本を50体に充実、世界的に貴重な恐竜の実物ミイラ化石標本を日本初公開
- ・恐竜の塔、大型3面スクリーンのダイノシアターなど新たな見どころを整備
- ・通年型の新たな体験メニュー「化石研究体験」を開発、定員充足率9割と大人気を博する
- ・電子チケット、事前予約&決済システムを導入し、入館時の混雑を劇的に緩和

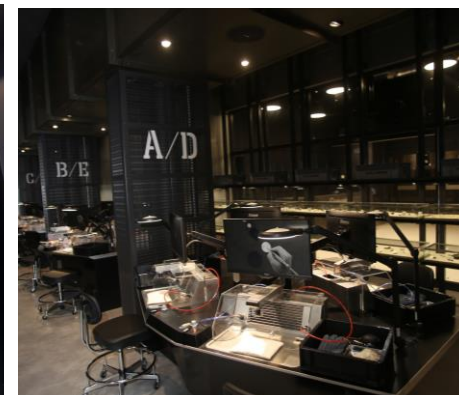
来館者数(7/14~12/30)68万人(対R元:約120%)

(3)クレドの実践ポイント

- ・開館以来初となる大規模リニューアルにおいて、これまでの県施設にない発想で、新たな展示や機能の追加、来館者サービスの向上に果敢に取り組み、博物館の魅力度を一段と高めた(現場、挑戦、創意工夫)



恐竜の塔



化石研究体験

北陸新幹線開業プロモーション、機運醸成【挑戦】

(1) 候補者

交流文化部新幹線開業課 全員

(2) 成果

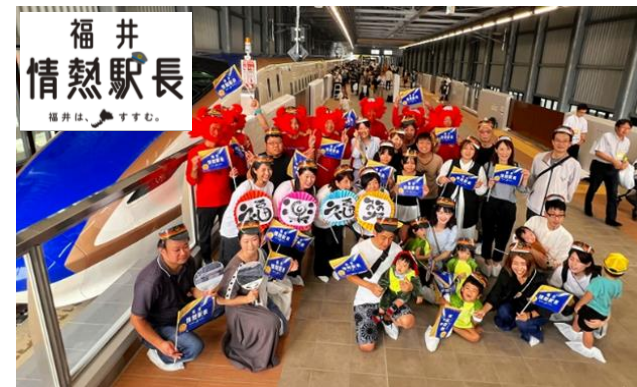
- 話題となる手法・手段により開業をPR、機運盛り上げ
- ・要となる**沿線駅6駅**(乗降車274万人)の出向宣伝
- ・プラレール、居酒屋新幹線、シンカリオンなど新幹線にちなんだ人気コンテンツとコラボした情報発信、イベント
- ・話題性のある**YouTube動画配信**(3本が100万回以上再生)
- ・県民千人が主役のCM「**福井情熱駅長**」など
- ・「**開業を知っている**」R5:約7割(69.8%) [R4:53.4%]

※東京駅アンケート

(3) クレドの実践ポイント

- かつてないプロモーションやイベントに挑戦(挑戦、創意工夫)

- ・**過去最大、県内初**: 出前！エキュート&グランスタ東京
- ・**都道府県初**: プラレール、居酒屋新幹線、シンカリオン
- ・**県内初**: 全国宣伝販売促進会議、ブルーインパルス
- ・**東京駅で最大**: 開業カウントダウンキャンペーン



戦国列車“超”プレミアムツアー【挑戦】

(1)候補者

交流文化部文化・スポーツ局 文化課 総括主任 伊戸 崇 主査 小原 啓聖
 一乗谷朝倉氏遺跡博物館 副館長 半藤 貴子 主査 藤田 若菜 主事 常見 彩花



戦国風ラッピング電車（越美北線）

(2)成果

- ・一乗谷朝倉氏遺跡博物館**展示(朝倉館原寸再現)を活用し、初の「食事(現代版”饗応の宴”)」付きツアーを企画・実施**し、北陸新幹線福井・敦賀開業に向けた新たなツアーメニューを造成
- ・会食に合わせ、**学芸員**が朝倉氏の歴史や当時の食文化などを解説し、**よりリアルな学びの場を提供**
- ・旅行事業者や報道関係者によるモニターツアーのほか、一般対象のプレミアムツアーを催行・完売
- ・ツアー全体の**満足度は100%**(大変満足、満足)
- ・館内での食事付きツアーを**新たな観光素材**として旅行会社等に発信

(3)クレドの実践ポイント

- ・**「10のこだわり」**で特別なおもてなしを実施(創意工夫)
- ・JRや福井市、大野市、朝倉氏遺跡保存協会、福井県観光連盟、開花亭などと連携し企画・立案するとともに、受入先には直接出向き、事業の考え・思いを伝えながら内容を決定(現場、協働)



朝倉館原寸再現での食事(学芸員による饗応料理の説明)

フクモクフェスの初開催【挑戦】

(1)候補者

農林水産部県産材活用課 企画主査 柴田 諭

(2)成果

・サンドーム福井において「ふくいの木」の魅力を発信する体験型イベント

「フクモクフェス」を初開催

・開催内容:県産材を利用した大型遊具や1,000種類を超える木の玩具で遊べる「木のおもちゃエリア」と県産材を積極的に利用する工務店等による住宅の実例紹介などの「ふくいの木住まい博エリア」を設け実施

来場者:約1万1千人

(3)クレドの実践ポイント

- ・県、事業受託者、福井県木材組合連合会など関係機関と連携し、「ふくいの木」に関する県内初の大規模イベントを実現(現場、挑戦、協働)
- ・出展者や協賛企業を確保するとともに、当日は運営責任者として対応(協働、効率化)



サンドーム福井での会場の様子



県産材を活用した大型すべり台

協働部門

協働部門

	市町の滞納整理を伴走応援	総務部	税務課 福井県税事務所納税課	納税推進室 福井県税事務所納税課	総括主任 荒木 千恵 主任 橋詰 英明	主任 齊藤 富洋 企画主査 田中 健太 企画主査 成實 亜清 主事 西村 樹紀
特別賞	バス・タクシーのDX化	未来創造部	交通まちづくり課	主任 竹沢 進	主事 伊與 悠登	
	主伐・再造林を盛り上げる取り組み	未来創造部	嶺南振興局林業水産部	主任 吉田 悦久		
	UDフォントの普及促進	健康福祉部	タスクフォース	三国土木事務所 障がい福祉課	主任 乾 陽子 参事 加賀 ゆかり	SDGsディレクター 総括主任 北川 愛子 布川 友美

市町の滞納整理を伴走応援【協働】

(1) 候補者

総務部税務課納税推進室
福井県税事務所納税課

総括主任 荒木 千恵 主任 齊藤 富洋
主任 橋詰 英明 企画主査 田中 健太

企画主査 成實 亜清 主事 西村 樹紀

- ・個人県民税は住民税として市町が賦課徴収
- ・市町への応援により収入率UPを！

(2) 成果

- ・県職員が市町に出向き助言等を行う滞納整理の伴走応援をスタート (R5.9～)
 - ・4市町との協議や助言を実施(13回)。20件中7件の困難案件を解決！！ (R5.12現在)
- (具体的取組み)

多岐にわたる財産調査、滞納整理に関するノウハウを提供
県職員(市町職員を併任)が納税交渉に同席、市町職員と協力して対応
「ほめる達人」を講師に、前向きで実践的な納税交渉術を研修(参加者の8割超が高評価)



本研修の目標

- 滞納整理という仕事に価値を見出し、あらゆる経験を前向きなエネルギーに変える
- 争いごとが苦手でも納付折衝できるマインド・ノウハウ・テクニックを身に付ける
- 「チーム」で滞納整理する意識を獲得し、決して「孤軍奮闘しない」ことを誓う

(※研修資料から抜粋)

(3) クレドの実践ポイント

- ・滞納者宅、関係者宅など最前線で市町職員と共に折衝(現場)
- ・市町が抱える徴収困難案件を県職員と市町職員が協力して解決(協働)
- ・滞納整理の価値を伝え明るく前向きなマインドを育てる研修を実施(創意工夫)

バス・タクシーのDX化【協働】

(1)候補者

未来創造部新幹線・まちづくり局交通まちづくり課 主任 竹沢 進 主事 伊與 悠登

🏆特別賞

(2)成果

県民の移動手段や新幹線二次交通として重要な役割を果たすバス・タクシーの利便性を向上

- ・京福バス・福鉄バスにICOCAを導入

系統別導入割合 4.2% → **92.3%**

- ・タクシーのキャッシュレス化を推進

主なキャッシュレス決済に全て対応する端末の導入促進

交通系ICカード決済対応率 7% → **70.1%**

- ・都市部で広く普及するタクシー配車アプリを県内に導入

タクシー配車アプリ普及率 12% → **56.1%**



(3)クレドの実践ポイント

県と事業者協働で公共交通のDX化を推進

- ・バスへのICOCA導入に向けて、県で勉強会・進捗管理WGを実施（現場、協働）
- ・県タクシー協会と連携し、事業者や市町に対して説明会を3回開催。（現場、協働）
- ・補助金申請が複雑との声→申請方法を分かりやすく説明したチラシを作成（現場、創意工夫）

主伐・再造林を盛り上げる取組【協働】

(1)候補者

嶺南振興局 林業水産部 林業・木材活用課 主任 吉田 悦久

(2)成果

林業普及指導員中部・北陸ブロックシンポジウム発表会において最優秀賞を受賞

- 主伐・再造林の推進に向けて、れいなん森林組合と協働し **モデル林を設定**
主伐面積 R4:5ha ▶ R5:10ha ▶ R6:13ha(計画)
- 主伐により素材生産量が増加する見込みであるため、林業事業者が入荷量と出荷量の動向をリアルタイムに把握するため、**林野庁と協働しシステムを構築**
- 担い手確保のため、れいなん森林組合の仕事内容や森の情報を **SNSで発信**



モデル林での主伐状況



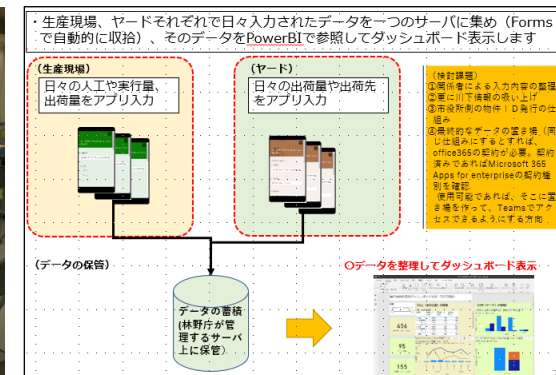
伐採され積まれた木材

(3)クレドの実践ポイント

- ファシリテーターとして参加することにより**課題の把握から解決策の実施までを円滑化(現場、協働)
- 林野庁と福井県森林組合連合会の繋ぎ役となることで効率的にDXを推進(協働、効率化)



解決策提案のためのグループワーク状況



素材生産管理システムの仕組み

UDフォントの普及促進【協働】

(1) 候補者

三国土木事務所主任 乾陽子 SDGsディレクター 北川愛子 障がい福祉課参事 加賀ゆかり・総括主任 布川友美



(2) 成果

- UDフォントの理解・活用推進を視覚で伝える『UDフォントだより』(全4回)を発行。県庁掲示板・フェア開催(予定)のほかSNS・メール等で庁内外に発信し、**県内全市町**や**約1800企業・団体**に**啓発**。(SDGsパートナー含む)
- フォント開発会社**に赴き開発担当者と**タイアップ**。資料提供、デザイン添削に加え、サイトにて福井県の取組み紹介予定など、全面的な協力体制を構築。
- 県庁内での活用が増え、県庁外からも**FM心くい「ケアモア」****出演オファー**や**生保会社**のアンケート内で**周知**など反響あり。

(3) クレドの実践ポイント

- フォント開発現場や特別支援学校の取材、放送大学ゼミ等、**産官学の現場**の声をもとに作成。(現場)
- タスクフォース・20%ルール**を活用し、部局を超えた連携により多様な主体の協力を得て啓発。県庁外の機関も自主的に普及活動を実施。(協働)

誰一人取り残さない情報発信を目指す

UDフォントだより No.1

自分が読めるから、みんな読めると思っていませんか？

はじめまして！TeamUDです！ユニバーサルデザインフォント(UDフォント)、使っていますか？UDフォントは、より多くの方が文字情報を取得できるよう開発されました。UDフォントだよりでは、バリアフリーへの理解を深めながら、手軽にできる工夫を紹介していきます。

画像や毛筆、捺れ目の見え方のイメージ	漢字障害などがある場合の見え方のイメージ
似たような文字が判別しづらい	細かい筆路が混ざって文字全体を捉えにくい場合
365 → 365	365 → 365
3?8?6?	3?8?6?
	障がい者としごとマガジン
	障がい者としごとマガジン

出典：株式会社セリサフ(UDフォント)カタログ

UDフォントの特徴 ~デザインコンセプト~

- 文字の形がわかりやすいこと
- 読み間違えにくいこと
- 読みやすいこと

はなれが明確なので、似たような文字も判別できる

① S36 S36

手書きのふり仮名で直感的に認識できる文字デザイン

② な な

③ な な

出典：株式会社セリサフ(UDフォント)カタログ

Pickup! まずは見てみて!

UDフォントについて、さまざまな媒体で紹介されています。ぜひ同僚や友人、ご家族とぜひご覧ください！次回UDフォントを待ち望む現場をお伝えします！

UDフォント(UD)広まる導入

UDフォント「ディスレクシア」に読みやすい「UDフォント」が誕生(2023年6月30日) YouTube 出典：ANNnewsCH

発行 | TeamUD (お問合せ 福井県障がい福祉課 svosai@pref.fukui.lg.jp)

創意工夫部門

創意工夫部門

特別賞	県庁前広場の活用 屋上開放	総務部	財産活用課	主任 西岡 政泰	主事 大牧 祐子	
副知事賞	「らんまん」とのコラボ企画で平瀬作五郎を広く周知	教育庁	教育博物館	主任 柏谷 秀一	主任 浦 雅子	主査 菅原 芽衣

県庁前広場の活用 屋上開放【創意工夫】

🏆 特別賞

(1) 候補者

総務部財産活用課 主任 西岡 政泰 主事 大牧 祐子

(2) 成果

- ・4月から県庁前広場にて、**キッチンカーイベントを38回開催(R5.1.25時点)**
職員や周辺の従業員、専門学校生など多い日には**約200名/日**が利用
- ・6月に広場に設置した「ダイナソーウッドベンチ」が**職員のツイッターで600万回以上表示**
毎日新聞(全国版)で記事になるなど話題に
- ・4月から月1回の**屋上開放を実施**、夏休み期間中には事前予約による屋上見学を受入れ。これまでに延べ**1700人**が利用
- ・8月には県庁屋上でフェニックス**花火観覧会を開催**

(3) クレドの実践ポイント

- ・キッチンカーの定期的な出店や屋上でのフェニックス花火観覧会の開催など前例がないことに「挑戦」。また、平日の出店機会が少ないキッチンカーとオフィスワーカーのランチ需要とをマッチングし「協働」を実現

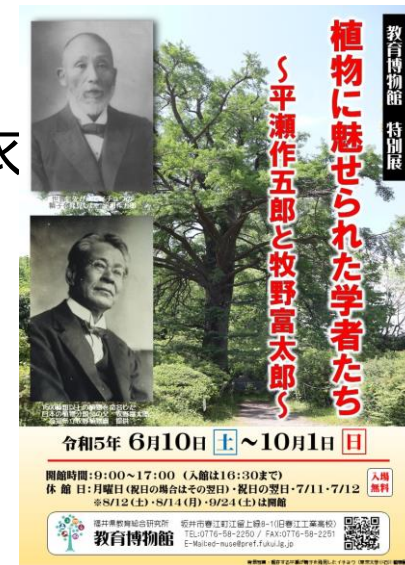


「らんまん」とのコラボ企画で平瀬作五郎を広く周知【創意工夫】

(1) 候補者

教育庁教育総合研究所 教育博物館 主任 柏谷 秀一 主任 浦 雅子 主査 菅原 芽衣

副知事賞



(2) 成果

- 世界で初めてイチヨウの精子を発見し、植物の進化の過程の解明に大きく貢献した本県出身の植物学者 平瀬作五郎の生涯と偉業について、NHK朝ドラ(らんまん)のモデルとして取り上げられた牧野富太郎とのコラボ展示を企画。各所に創意工夫を凝らし、イチヨウの精子発見の学術的価値や両者の経歴、功績、交流を紹介する特別展を開催。県民の平瀬に対する認知度向上に努め、来館者が大幅に増加した。(R5 6/10~10/1) **5年度上半期来館者数:10,883人(前年比67%増 H29開館以来最多) 来館者評価:4.58(5段階)**

(3) クレドの実践ポイント

- 牧野植物園、東大理学図書館など関連施設との相互連携
- 石版印刷による植物画、平瀬の論文など実物資料の展示(県内唯一)
- 人物相関図や伝語追悼文の日本語訳など分かりやすい展示
- ギャラリートーク、平瀬に関する演劇上映会などのイベント



大人気のギャラリートーク

効率化部門

効率化部門

副知事賞 生成AIの効果的活用と横展開

未来創造部

タスクフォース

生成AI業務活用タスクフォース職員一同

学校事務に多様なDXを導入

教育庁

敦賀高等学校

敦賀高等学校 事務職員一同

生成AIの効果的活用と横展開【効率化】

(1)候補者

生成AI業務活用タスクフォース

副知事賞

DX推進課長推薦
令和5年度
いいね！チャレンジ最多得票

(2)成果

- 生成AI業務活用タスクフォースにおいて生成AIの活用効果を検証し、
生成AIが県の業務の生産性を大きく向上させることを立証
 (アイデア出し: 56分削減、文書等作成: 51分削減 等)
- 事業のアイデア出しや文書の作成等、行政実務を生成AIにより効率化**
 ⇒「いいね！チャレンジ」では、職員121名から評価され(歴代最多得票)
第1位を獲得
 ⇒また、個人の業務効率化に留まらず、誰もがAIの活用効果を楽しむよう生成AIへの質問・命令の汎用テンプレートを作成し横展開
 (生成AIを使いこなすための知識や技能を持たない初心者の課題を解決)



職員を対象としたタスクフォース活動報告会

命令書
あなたはコンサルタント、私は[〇〇]です。
下記の手順に沿い、「イシューツリーとそのストーリー」を出力してください。

手順

- ①「現状とあるべき姿の間のギャップ」を「イシュー」として端的に表現してください。ギャップを分解した要素を20個書き出し、約5個のグループにまとめてください。
- ②そのグループをもとに3階層のイシューツリーをマークダウン形式で展開してください。
- ③下記3A-3Dに基づき、イシューツリーの良し悪しを具体的に説明して下さい。改善すべき点があれば手順2に戻ってください。
 - ・3A モレなくダブリなく分解 (MECE)
 - ・3B 本質化 (4P/3C/5F等の分析フレームワーク活用)
 - ・3C 新しい構造を表現 (現状との共通点、要素間の関係性、法則など)
 - ・3D 解決可能なものにする
- ④イシューツリーについて私にフィードバックを求め回答を待つこと。フィードバックあれば手順1に戻り、なければ手順5に進んでください。
- ⑤サブイシューに対する優先順位と理由を2案提案し、選ばせてください。
- ⑥サブイシューの優先順位をもとにストーリーを作成してください。

命令文のテンプレート作成

(3)クレドの実践ポイント

- 最新技術を活用し、既存業務を効率化**(挑戦、効率化)
- 高精度の回答が得られる命令文ひな型を作成・横展開(創意工夫)

学校事務に多様なDXを導入【効率化】

(1)候補者

敦賀高等学校 事務職員一同

(2)成果 業務時間 120時間を削減 (令和5年12月末現在)

○電子申請システムの導入

通学証明書等の申請に電子申請システム(←ここをクリック!)を導入し、**年間500件**の証明書等発行業務を自動化

○電話自動交換システムの導入

外線電話の着信に対し**音声メッセージ**で**担当部署に転送**するシステムを導入し、**毎日50件**の着信の約半分を自動転送

○学納金会計ソフトの開発

Excelで**出納簿、決議書、銀行帳票等**を作成するソフトを独自開発し、**年間800件**あるPTA会計などの会計処理を自動化

(3)クレドの実践ポイント

- ・生徒や卒業生、保護者など、高校に関わる県民目線で利便性を向上(現場)
- ・学校事務におけるルーチン業務の作業時間を削減(効率化)
- ・県内全高校での展開を目指し、削減時間で次のシステム導入に着手(挑戦・協働・創意工夫)

人事課長推薦
令和5年度業務削減

通学証明書申込書

本校の生徒や卒業生、その保護者が、進学、就職等が必要となる証明書を発行

ブラウザの「戻る」「更新」ボタンを使用すると正しく処理できませんので、使用しないでください。
印は必須項目です。必ずご記入ください。
60分間通信がない(ページ移動がない)場合、タイムアウトとなり入力内容が破棄されます。ご記入に時間がかかる場合は一時保存をご利用ください。

本人情報 ※通学される方の情報

[1] 本人氏名 姓と名の間にスペースを入れてください。
(記数例) 教員 太郎、 松葉 花子
(30文字まで)

[2] ありかな (60文字まで)

[3] 性別 男 女

電子申請の画面

敦賀高等学校 課題研究発表特設サイト

ホーム 動画視聴 動画一覧 評価フォーム 振り

2023敦賀高等学校 課題研究発表特設サイト

